

## 令和元年度総合政策審議会 農林水産部会 議論の主なポイント

本県では、若者の流出や高齢化等に伴う人口減少、労働力不足等により、農山漁村の活力の低下が懸念されています。

こうした背景を踏まえ、部会では次のポイントについて、日頃思うことや感じることを、今後の展開に向けた新たな提案などについて、意見交換を行います。

### 【主なポイント】

#### ○ 多様な担い手の確保・育成（移住・定住、若者、ミドル層等）

- ・ 就業・経営開始に当たり、若い方々がどのような悩みを抱えているのか。
- ・ 雇用を増やしていく上で、どのような課題があるか。
- ・ 移住者の定着を図るために必要なことは。

##### ＜関連する県の施策＞

- ・ 営農開始時の機械等の導入支援や、農業次世代人材投資資金（青年就農給付金）の給付等により総合的にサポート
- ・ 機械作業やメンテナンスなど、林業大学校の研修内容を充実
- ・ あきた漁業スクールを設置し、技術習得から雇用先とのマッチングまで一貫して支援

#### ○ 円滑な経営継承に向けた対応（世代交代）

- ・ 経営者の高齢化に伴い、次代への経営継承についてどう対応していくべきか。

##### ＜関連する県の施策＞

- ・ 近隣の農業法人等の連携や統合など、集落営農の組織再編を支援
- ・ 次世代農業経営者ビジネス塾等により、法人経営の担い手となる若手経営者の育成を推進

#### ○ 女性の活躍推進（加工・直売等の新ビジネス）

- ・ 女性目線での新たな事業展開はどうあるべきか。
- ・ 現状の直売や農産加工から、ビジネスを拡大するためにはどうあるべきか。
- ・ 林業や水産業における女性の活躍に期待することは。

##### ＜関連する県の施策＞

- ・ 新商品開発から販売活動までを一貫してサポート
- ・ 出荷者の高齢化に対応した直売所集荷モデルを構築

#### ○ 労働力確保（職業紹介、外国人活用等）

- ・ 地域の人材を雇用するなど、労働力確保の実態や対応はいかに。
- ・ 高齢者、外国人、障害者など、多様な人材の活用にどのような課題や期待があるか。

##### ＜関連する県の施策＞

- ・ 農業労働力サポートセンターを設置し、ＪＡの無料職業紹介所の全県展開や多様な人材の確保に向けた取組等を支援
- ・ 出入国管理法の改正により、外国人が国内で働く条件が緩和

○ 複合型生産構造への転換や秋田米の戦略的な生産・販売（メガ団地、米の新品種等）

- ・ 園芸メガ団地や大規模畜産団地等の整備や運営をどう見ているか。
- ・ 米の新品種について、どのような期待を持っているか。
- ・ 新たな販路として拡大が期待される輸出について、どのように考えるか。
- ・ ほ場整備や排水対策の強化などの基盤整備の現状をどう見ているか。

＜関連する県の施策＞

- ・ えだまめやしいたけなど、日本一を目指す品目の生産拡大を支援
- ・ 秋田牛のブランド力向上や、ストロングポイントを訴求した比内地鶏の生産・販売対策を実施
- ・ 極良食味の新品種系統を「秋系821」に決定し、生産・流通・販売対策を総合的に推進
- ・ 年間800haのほ場整備のほか、暗渠排水等による水田の畑地化対策を実施

○ ICT等先端技術の活用（スマート農林水産業）

- ・ 生産・加工・流通現場で、スマート技術への期待や活用状況はいかに。
- ・ 今後スマート技術を普及させていくには、どのような課題があるか。

＜関連する県の施策＞

- ・ 農業では、国のスマート農業加速化実証プロジェクトを活用し、大規模土地利用型作物と露地キクにおいて先端技術での一貫体系を実証
- ・ 林業では、ニーズに合った丸太を供給するためのマッチングシステムを構築
- ・ 水産業では、ハタハタ漁獲量をリアルタイムで把握し資源管理に生かすシステムの構築を推進

○ 林業・木材産業の活性化（資源の循環利用、需要拡大）

- ・ 将来の森林資源の確保や循環利用を図るための方策はどうあるべきか。
- ・ 秋田スギの新たな用途開発など、利用拡大に向けた取組はいかに。

＜関連する県の施策＞

- ・ 低コスト技術を用いた再造林による森林資源の循環利用を推進
- ・ 間伐等の施業の集約化や林内路網の整備、高性能林業機械の導入等を支援
- ・ 畜舎や倉庫、土木分野等における木材の利用促進に向けた部材開発や建築人材の育成を推進

○ 水産業の活性化（ハタハタ資源回復、つくり育てる漁業）

- ・ 県魚ハタハタの資源回復に向け、どのように取り組んでいくべきか。
- ・ 釣りなど観光と組み合わせた内水面漁業の振興はどうあるべきか。

＜関連する県の施策＞

- ・ マダイやヒラメ等の種苗生産に加え、大型マスの作出やアユ稚魚の早期放流技術の確立を推進
- ・ ハタハタ漂着卵等のふ化放流の支援や、小型魚が捕獲されにくい改良網等の実証等を実施

○ 農山漁村の活性化（交流人口・関係人口の拡大、魅力ある里づくり）

- ・ 若者を呼び込み地域を元気づけるには、秋田の農山漁村をいかにアピールすべきか。
- ・ 水産振興センターのリニューアルや全国豊かな海づくり大会を契機として取り組んでいくべきことは。

＜関連する県の施策＞

- ・ 棚田等の優れた景観や多様な地域資源を活用した保全活動に取り組む地域を「守りたい秋田の里地里山50」として認定し、その活動や魅力発信を支援
- ・ 地域の食や伝統文化、棚田や水辺環境など、中山間地域ならではの地域資源を生かした「魅力ある里づくり」のモデル地域を育成するため、計画策定・拠点整備・実践活動を総合的に支援